

## 序 議 錄

## 会議の経過・結果

### 1. 開会

### 2. 報告

- (1)令和8年度伊達市行政組織の見直し（案）について  
総務部長が資料に基づき説明した。
- (2)令和7年度第2回定期監査結果報告書について  
総務部長が資料に基づき説明した。
- (3)「令和7年分所得申告相談会」の開催について  
財務部長が資料に基づき説明した。

### 3. その他

- (1)特別職主要業務予定、各部主要業務・行事予定（年末年始）
- (2)その他

### 【市長より】

今年1年、本当に職員のみなさんには市政推進に尽力していただき感謝している。市政の現状については皆さんの頑張りもあり、おおむね順調に進んでいる。

今年を振り返ると、まずは、クマ対策において、マニュアルの見直しや予算を確保したことは速やかな対応でよかったです。物価高対策についても議会で承認をいただいた。12月中に臨時会を実施し、来年に向けて速やかに実施ができますは、市民のみなさんにとって安心に繋がる。政策については、必要なものは速やかに実施をすることが重要であるので、来年もそのような対応をお願いしたい。

今年は、多くの市民に参加してもらうイベントが多くかった。ももの里マラソン、紅屋峠の千本桜、クラシックカーフェス、「ぼくが生きてる、ふたつの世界」の上映、健康ウォークなど市民同士または市民と市の繋がりができ、こうした繋がりというものをこれから重要視しなくてはならないと感じた。また、イベント等に出てみると、子供たちの参加が増えてきたようだ。子供たちは、今までゲームなど室内での遊びが多くなったが、外に出て集団の中で遊んだり、多くの体験をしたり、子供たちにとって非常に新鮮な経験になっていると感じる。その様な繋がりもこれから重要視していきたい。

市内の様々なイベントに出て感じることは、文化、芸術、スポーツなどによって、心の豊かさ、人と人との繋がりができると思っていると思う。このことを大切にしながら、生涯学習で心の豊かさを味わえるような政策が必要であるので、来年以降もしっかりと皆さんと一緒に頑張っていきたい。豊かさという考えでは、いかに収入が上がるかも大切である。伊達市は農業産出額が高いが、農業従事者全員の収

入が上がっている訳ではない。農作物の価格をしっかりと上げることで、農家全体の所得を上げることが大切であるし、商工業関係では商店街で後継者がいなく、閉店してしまうような思いの方が多い中で、承継をいかにしていくかも重要な要素になってくる。

市内に目を向けると、高齢化が進んでいるので、高齢化社会の中で暮らしやすい地域づくりをしていくには、便利さが重要である。公共交通をうまく繋げて、歩いて外出ができる機会を作ることや、買い物をする場所をどう確保するかなど、高齢化社会に対しての対応が重要になってくる。高齢の方の居場所としては、元気づくり会がある。子供は、子供関係の遊び場、認定こども園などがある。若い世代にもその人たちの居場所がある。しかし、世代問わず集まれるような場所がなかなかなく、どうしても世代ごとに分かれてしまう。U一プレイスなど各世代の人が一緒に楽しめるような居場所をこれからも考えていき、市内各地に広げていくことが重要だと思う。

来年に向けて思っているのは、伊達市の市政は、皆さん頑張りのおかげで、素晴らしいものができている。それをいかに周知して、市内外の人に対して伊達市について常に発信をしていくことが重要である。SNS をもっと駆使して、伊達市の情報発信をこれから進めていく必要がある。

年末年始は長い休みになるが、健康には十分注意し、ご家族そして友人とゆっくりと英気を養っていただきたい。そして、また1月5日に皆さんと顔を合わせることを楽しみにしているので、どうか皆さん良い年を迎えていただきたい。本当に今年1年お疲れ様でした。

#### 4. 閉会